

宮崎県 Miyazaki Pref. (日向 Hyuga)



霧島連山の韓国岳から

宮崎県では、北部にそびえる祖母山や中部にそびえる市房山、南部にそびえる霧島連山などの山々から、空気が良く澄んだ日には“[東面～南東面の雲仙岳](#)”が眺望できます。手前には[阿蘇山](#)や九州中央山地、霧島連山の山々が横たわり、その奥にぽっかりと浮かんで現れます。

宮崎県内の高千穂峡や高千穂峰（霧島連山）は、古事記や日本書紀に登場する“天孫降臨”（天孫ニニギノミコトの天から地上への降臨）の神話の舞台として全国の中でも有力視されており、神話の香りが色濃く残る地域ですが、実は[雲仙岳](#)にも天孫降臨にまつわる変わった伝承（[雲仙岳](#)の山岳宗教の中核であった温泉山満明寺の由緒を記した“温泉山縁起”）があり、ニニギノミコトが[雲仙岳](#)に降誕した後、有明海・八代海を経て日向国に移動した、という伝承なのです。江戸時代からある「天孫降臨は高度な文化を持った大陸の人々の渡来にまつわる神話」という説も考慮すれば、上記の伝承も単なる創作とは言い切れず、古代の[雲仙岳](#)と霧島連山の間で何らかの人的な交流があったことが推察されます。

このような[雲仙岳](#)と霧島連山は、昭和9年3月16日、日本初の国立公園として同時に指定され、平成26年には80周年を迎えています。火山としての地形・地質は異なりますが、春はピンクのミヤマキリシマ、夏は青い草原、秋は錦の紅葉、冬は白い霧氷と、九州ならではの四季の彩りを共有しています。現在、[雲仙岳（島原半島）](#)はユネスコ世界ジオパークに、霧島連山は日本ジオパークに認定され、火山の多様な楽しみ方ができるようになっています。

上記のようなストーリーを楽しめる散策道として、九州全県をつないで一周するトレイル“九州自然歩道”があります。トレイルは、[雲仙岳](#)が眺望できる県北の祖母山から県南の霧島連山の高千穂峰などを通して、遥か[雲仙岳](#)まで続いています。

[雲仙岳](#)の様々な表情を探しながら、宮崎県を旅してみませんか？

●宮崎県の観光情報はこちら↓

みやざき観光コンベンション協会 <http://www.kanko-miyazaki.jp/>